

ふしぎ文学半島プロジェクト

うつくしあやし

幻想の渥美半島へ

幻想文学の巨人、泉鏡花と柳田國男。彼らは愛知県の東南、渥美半島と不思議な縁で結ばれていました。二人にちなみ、幻想的な物語の数々に彩られたこの半島から「ふしぎ文学」の魅力を発信します。

トークライブ

村松友視が話す《作家の「虚」と「実」— 泉鏡花と私》

泉鏡花の作品や、ご自身の作家活動についてお話しさせていただきます。

日時 平成25年2月10日(日)

午後2時～午後3時半

会場 田原文化会館多目的ホール

話し手 村松友視氏(作家・エッセイスト)

聞き手 桑原茂夫氏(編集者・詩人)

参加費 無料(先着200名)

申込み 平成25年1月8日(火)

午前10時から電話、メール又は直接
田原市中央図書館で受付(詳細は裏面)

主催/鏡花名月会 共催/田原市図書館

村松友視氏プロフィール

昭和15年東京生まれ。昭和57年『時代屋の女房』で第87回直木賞受賞。平成9年『鎌倉のおばさん』で第25回泉鏡花文学賞受賞。平成12年から泉鏡花文学賞選考委員を務める。

『私、プロレスの味方です』『俵屋の不思議』『アブサン物語』『幸田文のマッチ箱』『夢の始末書』『時のものがたり』『七割の憂鬱』『残月あそび』など著作多数。

展示

田原市中央図書館の新コーナー 泉名月記念ふしぎ図書館

平成24年11月3日(土祝)に泉鏡花や柳田國男をはじめ「ふしぎ文学」を集めたコーナーをオープンしました。

泉名月 いづみなつき(1933-2008)

田原市出身の作家。数多くの優れた幻想文学を著した文豪・泉鏡花の姪で養女。泉鏡花記念館名誉館長。鏡花文学の研究と普及に尽力した。

ふしぎ文学マスターが薦める100冊

ふしぎ文学に詳しいお2人が「泉名月記念ふしぎ図書館」のために選んだおすすめ本をコメント付きで展示します。

場所 田原市中央図書館2階回廊

第2期 東雅夫氏(アンソロジスト・評論家・雑誌「幽」編集長)

平成25年1月5日(土)～2月28日(木)

※第1期の金原瑞人氏が薦める100冊は「泉名月記念ふしぎ図書館」でご覧いただけます。